

社協だより ONAGAWA



認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる町に

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域住民の正しい理解が必要不可欠です。

包括支援センターの認知症啓発活動を推進していくための新たな取り組み「住民による寸劇」の担い手に、宮ヶ崎区の老人クラブ「四つ葉会」の皆さんのが立ち上がってくれました。

稽古を重ね、地元宮ヶ崎区敬老会での初披露を経て、12月21日（金）まちなか交流館の大舞台「ぴんぴん元気推進塾」で行われた披露の場には、70名ほどの観客が詰めかけました。

集まったさんは「劇団四つ葉」の迫真の名演技に驚き、大笑いしながら、正しい認知症への理解を深めることができました。



2
FEBRUARY. 2018

この広報誌の発行には、皆さんから頂戴した会費を使わせていただいております。

生活支援体制整備事業における協議体について

・生活支援体制整備事業とは？

平成26年の介護保険改正の際に創設された介護予防・日常生活支援総合事業の中に位置付けられる生活支援体制整備事業は、市町村が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体や地域住民と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的としており、

- (1) 生活支援コーディネーターの配置
- (2) 協議体の設置

を実施するもので、高齢者の介護予防および地域での暮らしを維持することに繋がります。

・生活支援コーディネーターとは？

女川町では平成29年4月から地域の支え合い活動の推進役として2名が配置されました。地域課題の解決や願いの実現に向けて、地域住民と共に考える「地域のサポーター」です。

・協議体とは？

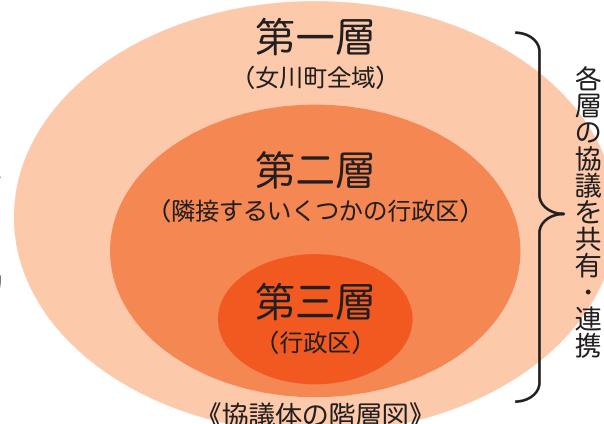
地域の支え合いづくり・地域づくりを行政・民間企業・住民が一体となって協議していく場です。地域の中に既にある資源（地域の宝）に気付き、意味づけして高めることと、地域に不足している支え合いの仕組みを検討・開発する場となります。

協議の場に集まっていたら地域の範囲を三つの階層に分けて行い、各層の協議を共有・連携することで、包括的な支え合いの地域づくりを目指します。

(第一層協議体) 女川町全域

(第二層協議体) 隣接するいくつかの行政区

(第三層協議体) 行政区



第二層協議体を実施しています



【第一回】2017年8月31日(木)

参加団体 健康福祉課／女川町保健センター／女川町地域包括支援センター／女川町社会福祉協議会／永楽会／きらら女川／女川町ボランティア友の会／女川町商工会／企業組合ビホロ

参加住民 上三区（区長・民生委員）／上五区（区長）
講演テーマ (1) 「語ろう・つくろう・住みよいまち」

～協議体と生活支援コーディネーターについて～

(2) 地域の資源（地域の宝）から見えてくる地域づくりについて

①健康寿命と地域づくり
②地域の小さな支え合いからの地域づくり

【第二回】2017年11月7日(火)

参加団体 女川町地域医療センター／健康福祉課／女川町地域包括支援センター／女川町社会福祉協議会／永楽会／ぱんぱきん／企業組合ビホロ／女川温泉ゆぽっぽ／大原北区ふれあいカフェ

参加住民 女川南区（区長・民生委員・福祉活動推進員）／大原北区（区長・民生委員）／大原南区（保健推進員）／女川北区（民生委員・住民有志）

講演テーマ 「語ろう・つくろう・住みよいまち」

～協議体と生活支援コーディネーターについて～

協議テーマ 「暮らしの中のつながり」

①見守り②生活支援③若者の地域参加

第三層にあたる行政区で地域について考える「地域づくり会議」を実施しています

2017年 6月26日(月) 宮ヶ崎区
2017年 7月20日(木) 旭が丘区
2017年10月17日(火) 女川北区
2017年10月21日(土) 上四区

2017年10月31日(火) 針浜区
2017年11月13日(月) 大沢区
2017年12月 7日(木) 上三区
2017年12月 8日(金) 大原北区

うみねこ園だより

CHRISTMAS DAYS



12月22日、今年もイオンスーパーセンター石巻東店さんとの協力のもと、クリスマス会が開催されました。もうすっかり恒例となっているこのクリスマス会。イオンの方々との再会や、一緒に楽しんだレクリエーションに利用者さんは大喜びでした。

また、今回もお寿司やオードブルなどの昼食、そしてケーキまで用意していただき、豪華な食事に舌鼓を打った利用者さんたち。さらには、イオンの職員さん扮するひょうきんなサンタさんまで登場！プレゼントとともに笑いも届けてくれました。

最後に、うみねこ園からはこの日のために練習したクリスマソングと、利用者さん手作りのクリスマスカードをささやかながらプレゼントさせていただきました。イオンのみなさんありがとうございました。



今年のクリスマスはこれだけにとどまりませんでした。

18日には、東京からアカペラグループのAWSのみなさんが11月に続いてうみねこ園に来て下さり、クリスマソングをはじめとした数曲を披露してくれました。歌のプレゼントに、今回も盛り上がったのは言うまでもありません。

また20日には、毎週うみねこ園に来て下さっているボランティアの阿部さん、平塚さん、小豆畠さんの3人が、材料を準備してくださり、それを使って一緒にクリスマスリースを作ったり、さらにはクリスマスプレゼントまでいただきました。

他にも以前うみねこ園のスタッフだった方にクリスマスカードをいただくなど、今年のクリスマスは盛りだくさん！多くの人に見守られ楽しいクリスマスを過ごした利用者さんたちでした。

みなさんありがとうございました。



女川町指定ゴミ袋も販売しております。

下記の町内各事業所のご協力をいただき、ポリ袋を販売しております。

相喜フルーツ 様

おんま～と 様

高橋酒店 様

赤間商会 様

セブンイレブン女川バイパス店 様

ツルハドラッグ宮城女川店 様

イオンスーパーセンター石巻東店 様

セブンイレブン宮城女川店 様

はや美印刷所 様

上記販売店以外、うみねこ園でも取り扱っております。(電話番号0225-54-4028)
お申し付けいただければ配達させていただきますので、ぜひお買い求めください。

ボランティアセンターだより 2月号

※ボランティアについての各種問い合わせはこちらへ→ 0225-53-4333（担当：矢竹拓）

小学校3年生の福祉学習のサポート



スロープの必要性を実感

学びを見守りながら、必要に応じてヒントを与えて、促しをする少し難しい役割を担っていただきました。

また生徒たちの学びが、より有意義なものになるよう、実施の前にボランティアだけで会場の下見を行って、各設備の状況をあらかじめ把握して当日に備えていただきました。

会場の下見をすることで、ボランティア自身にも福祉的な学びが多くありました。障がい者や高齢者にとって重要なバリアフリーがどこまで行き届いているのか、実際に車椅子に乗車して各設備を確認して回ったことで、スロープや段差の有無、多目的トイレの有無など、町の中にどのような配慮がどれだけされているか、よく理解することが出来たのです。

当日、生徒たちは同行してくれたボランティアが乗る車椅子を率先して押し、みずみずしい感性で福祉の設備をとらえて、さまざまな気付きを得ていたようです。その姿にボランティアの方々もまた学ぶものがあったと感心していました。とても有意義な学び合いの場となったと言えるでしょう。

小学校3年生の切り絵体験教室

11月2日（木）女川小学校3年生の福祉教育の授業「お年寄りの生活の困難さを体験してみよう」に、交流相手としてボランティアにお越しいただいた山本進さん（石浜区）が交流時間の中で、寿司職人の「バラン切り」という技法で見事な切り絵を披露されました。その際に生徒から「やり方を教えて欲しい」と言われ、その場で「今度教えてあげるから」と答えたそうです。

後日、「約束を守りたい」という山本さんの思いに、担任の先生も応えて下さり、12月18日（月）放課後に切り絵の体験教室が行われました。



教室を切り絵で飾りました

山本さんは、生徒たちが一生懸命挑戦している姿を温かく見守りながら、熱心に指導にあたっています。

12月15日（金）女川小学校の3年生が女川駅周辺の「点字ブロック」「スロープ」「トイレ」を調べる福祉学習を行う際に、赤坂はる子さん・青山実さん・小山芳悦さんの3名にボランティアでご協力いただきました。当日各班に同行して、生徒たちの自主的な

た。クリスマスツリーやハート型や星など、開いた状態を想像しながら下絵を描いて、切り抜いた絵は開いてみるとどれも面白い形をしていて、子供らしい創造性に富んでいました。中には金色の折り紙で見事なクワガタを切り出した生徒もいて、とりわけ光る才能を見せてくれました。

小さな約束をきっかけに、地域の住民が持っている得意技で小学校の生徒たちに学びを提供する貴重な機会となりました。

女川復幸男・女川町復幸祭 ボランティア募集

町内の様々な団体が垣根を越え、一丸となって実施する女川町の一大復興イベントに、一般市民のみなさんもぜひボランティアにてご協力下さい。

設営・撤収から、会場内の見回り活動や来場者の困りごとの手助けや傷病者の誘導等、誰もが楽しめるイベントの支えとなる重要な活動です。

興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。

開催日時 「女川復幸男」

3月24日（土曜日）15時32分～

「女川町復幸祭2018」

3月25日（日曜日）9時45分～16時

活動時間 ご都合に合わせます

場所 女川駅前商業エリア



活動内容 設営・撤収・会場見回り

誘導・福祉対応等

申込み ボランティアセンターまで

ボランティアの入門講座 参加者大募集！

このたび、今までボランティア活動を行ったことがない未経験の方々に向けたボランティア入門講座を2日間かけて行います。

「ボランティア」という言葉の意味や歴史を学ぶことに始まり、活動体験も盛り込んで、楽しく学べる内容となっております。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひこの機会に参加下さい。

未経験者向ですが、既に様々な活動を実践されているベテラン経験者の方も大歓迎です。

お申込みはボランティアセンターまで。（※2月20日締切）

日 程 2月21日（水）10:00～15:00

2月22日（木）10:00～15:00

内 容 ①ボランティアの定義・基礎を学ぶ

②町内で行われているボランティア活動を知る

③「支え合いゲーム」の体験

④傾聴ボランティア入門講座

⑤災害ボランティアセンター運営訓練

⑥ボランティア活動の体験、他

場 所 女川町地域福祉センター1階会議室

ご存知ですか？！「里親制度」

里親制度とは、児童福祉法に基づく制度のひとつであり、保護者のいない児童や、保護者である親の病気や離婚、蒸発などのさまざまな事情により家庭で生活できない児童の養育を、都道府県知事が適当と認めた里親に委託し、家庭的な環境の中で養育しようとするものです。

里親の種類

養育里親

家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭に迎え入れて養育する里親です。

専門里親

養育里親のうち、虐待や非行、障害などの理由により専門的な援助を必要とする子どもを養育する里親です。

養子縁組里親

養子縁組によって、子どもの養親になることを希望する里親です。

親族里親

実親が死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親です。



里親には、迎え入れた子供の養育費として里親手当、生活費、学校教育費、子どもの医療費などが支給されます。

皆さんも子どもたちの成長をサポートしてみませんか。

土日無料法律相談会

生活のなかで様々な悩み事などを抱えている方も多いことと思います。法テラスでは、平日働いているのために土日の相談会を開催しています。

一人で抱え込まず、ぜひこの機会にご活用ください。

土日相談実施日時

10日(土)・25日(日)10時～16時

場所：法テラス東松島

(東松島市矢本字大溜1-1コミュニティセンター西側)
※お住まいの場所に関係なくどなたでも無料で相談できます。(事前予約の方が優先となります。)

予約・問合せ先 法テラス東松島

Tel. 050-3383-0009

(受付：平日9時～17時／相談：平日10時～16時)

里親数の推移

里親への委託率（里親等委託率）は、全国平均で18.3%（H28年度末現在）にとどまっており、里親等委託率には自治体間で大きな差があるのが現状です。

	S60年	H24年	H28年
登録里親数	8,659	9,392	11,405
委託里親数	2,627	3,487	4,038
委託児童数	3,322	4,578	5,190

厚生労働省資料抜粋

里親になるまでのステップ

1

相談

里親制度について詳しくご説明いたします。里親について御理解いただきたら、ご家族同意のうえでお申し込みください。

2

調査・研修

児童相談所の担当職員が家庭訪問し、調査を行います。その間、里親制度等に関する研修を受講していただきます。

3

審査・登録

児童福祉審議会等での審議を経て里親として認定されると、里親名簿に登録されます。

4

更新

養育里親・養子縁組里親は5年、専門里親は2年ごとに更新研修を受講していただきます。

ゆぽっぽ健康講話『何でも健康相談会』

日 時 2月20日(火) 16:00～17:00

場 所 ゆぽっぽ2階休憩室

毎月第3火曜日は、女川町地域医療センター医師が健康に関する相談に応じます。

当日は、健康相談会にお越しいただいた方は、**入浴料500円→250円**とお得に入浴できます。

みなさん、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。

女川温泉ゆぽっぽ TEL.0225-50-2683

(営業時間：9:00～21:00)

※町民バス回数券をフロントにて好評発売中！

皆様の善意に感謝申し上げます

(12月11日～1月10日受付分)

寄附金（敬称略）

単位：円

行政区	氏名	金額
大沢	大沢・安住実業団	10,000
	女川麺飯協同組合	240,146
愛知県	妙勝寺 横井一行	100,000
三重県	四日市メリノール学院	75,183
東京都	株式会社ブリッジ	25,000



- 対象 女川の小学生・中学生
- 場所 きらら女川シーパルピア店
- 時間 14時30分～16時30分
- 実施日 2月3日(土)、17日(土)、24日(土)
- 連絡先 きらら女川(担当:沼田)

☎ 0225-98-8062

おらほの女川食堂に子どもたち集まれ！

「女川の子どもたちが安心して立ち寄れる場を作りたい」と有志が立ち上がり、毎月3回きらら女川シーパルピア店で女川版子ども食堂「おらほの女川食堂」が行われています。

指定の食券を持参すれば100円でカレーライス・メンチカツ定食・わかめうどん等、美味しい食事を食べることができます。

一緒に遊んでくれるボランティアによる様々な体験コーナーや悩みごと相談も受け付けています。

主に地域の区長さんに子ども達への食券配布をお願いしていますが、食券を持っていない子ども達には直接お店でお渡ししています。



ぜひお誘い合わせのうえ、ご利用下さい。

H30年度「宮城いきいき学園」学園生募集（再掲）

宮城県社会福祉協議会では、下記のとおり平成30年度学園生を募集しております。

- 対象 県内に居住しているおおむね60歳以上の方で、健康で学習意欲があり、2年間継続して受講可能な方。
- 会場 石巻校（東松島市コミュニティセンター）
- 募集人員 40人
- 学習日 年間22日（2学年制）
- 内容 生きがいと健康づくりを目指し、地域社会に貢献できる人材として必要な内容を身につける。
- 募集期間 平成30年2月28日(水)必着
- 入金・受講料 入学金5,000円 受講料年間20,000円
- 申込書 女川町社協窓口に設置しております。
- 問合せ先 宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課（電話022-225-8477）まで

2月の介護予防「地域遊びリテーション・ふまねっと」

実施内容については 地域遊びリテーション □・ふまねっと □となります。

地区	日時	地区	日時	地区	日時
大沢	19日 13:30	上四	お休み	石浜	5日 9:30
浦宿一	13日 13:30	上五	5日 13:30	大原南	21日 9:30
浦宿二	お休み	西二	27日 14:00	女川南	16日 9:30
浦宿三	お休み	運動公園住宅	1日 9:30	女川北	13日 9:30
針浜	19日 13:30	日蕨	お休み	出島	6日 9:00
旭が丘	8日 9:30	小乗	19日 9:30		
上三	お休み	宮ヶ崎	19日 9:30		